

平成 1 8 年度 農作物病害虫発生予察 7 月月報

平成 1 8 年(2006年) 8 月 2 日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

山口市大内御堀

月・半旬	気 温 (°C)								
	9 時			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
7.1	24.4	24.2	0.2	27.6	28.1	△ 0.5	21.0	20.5	0.5
7.2	25.6	25.1	0.5	28.5	29.2	△ 0.7	23.9	21.1	2.8
7.3	28.0	25.7	2.3	31.8	29.4	2.4	24.8	22.0	2.8
7.4	25.7	26.2	△ 0.5	28.1	30.4	△ 2.3	23.6	22.2	1.4
7.5	23.7	27.1	△ 3.4	27.5	31.3	△ 3.8	20.4	22.6	△ 2.2
7.6	28.1	27.4	0.7	33.0	31.6	1.3	22.9	23.0	△ 0.1
平均・計	25.9	26.0	△ 0.1	29.4	30.0	△ 0.6	22.8	22.0	0.8
月・半旬	湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	7.1	95.6	88.6	7.0	193.0	68.0	125.0	2.1	19.6
7.2	93.1	88.1	5.0	70.0	49.7	20.3	5.8	24.0	△ 18.2
7.3	93.8	87.6	6.2	4.0	67.6	△ 63.6	18.8	21.6	△ 2.8
7.4	94.9	87.0	7.9	97.0	39.7	57.3	3.1	27.2	△ 24.1
7.5	96.7	84.9	11.8	45.0	42.0	3.0	3.3	30.2	△ 26.9
7.6	91.5	85.5	6.0	14.0	30.7	△ 16.7	53.2	39.1	14.1
平均・計	94.3	87.0	7.3	423.0	297.7	125.3	86.3	161.7	△ 75.4

注) 7 月 2 半旬は農業試験場の観測データに欠測があったため、気温、降水量、日照時間については山口アメダスポイントのデータで代用した。湿度については代用できるデータがないため、欠測として平均値を算出した。

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 全般的に茎数(穂数)は少なく草丈、葉色は平年並みであった。出穂期は平年並み~やや遅かった。
- (2) ダイズ : 播種作業は順調であったが、後半は降雨により遅れた。開花期は平年並みであった。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年に比べ遅かった。着果量は、極早生は平年並みであったが、早生、普通は平年に比べ少なかった。
- (4) ナシ : 果実の肥大は平年並みからやや良かった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2006年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 葉いもち	<p>初発生は、7月3日(平成17年6月23日)に各地で認められ、平年に比べ遅かった。中旬の巡回調査では、発生ほ場率5.9%(平成17年24.4%)、発病株率2.1%(平成17年10.1%)、発病度0.6(平成17年2.7)で平年に比べやや少なかった。病斑は停滞型が多く、最上位病斑の葉位は2.4葉(前年2.7葉)であった。県東部でやや多い傾向があった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.6%(平成17年45.7%)、発病株率5.0%(平成17年20.9%)、発病度1.2(平成17年5.5)で平年に比べやや少なかった。病斑は停滞型が多く、最上位病斑の葉位は3.0葉(前年2.5葉)であった。</p>	県内全域	<p>中 851</p> <p>少 3,689</p> <p>計 4,540</p>
紋枯病	<p>初発生は7月11日(平成17年7月6日)に各地で認められ、平年に比べ遅かった。中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成17年3.7%)、発病株率0.1%(平成17年0.4%)、発病度0.01(平成17年0.1)で平年に比べやや少なかった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.3%(平成17年20.5%)、発病株率1.3%(平成17年3.0%)、発病度0.3(平成17年0.8)で平年に比べ少なかった。</p>	県内全域	少 2,270
ごま葉枯病	<p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成17年3.6%)、発病株率0%(平成17年1.7%)、発病度0(平成17年0.4)で平年に比べ少なかった。</p>	—	—
白葉枯病 縞葉枯病 萎縮病 ばか苗病	<p>中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。</p>	—	—
ツマグロヨコバイ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率30.2%(平成17年32.6%)、10株当たり虫数1.0頭(平成17年1.7頭)で平年並みであった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率47.7%(平成17年38.3%)、10株当たり虫数1.2頭(平成17年1.4頭)で平年並みであった。</p>	県内全域	少 11,633
ヒメトビウンカ	<p>中旬の巡回調査では、発生ほ場率41.9%(平成17年21.5%)、10株当たり虫数0.6頭(平成17年0.4頭)で平年に比べやや多かった。</p> <p>下旬の巡回調査では、発生ほ場率36.0%(平成17年28.7%)、10株当たり虫数1.1頭(平成17年0.6頭)で平年に比べやや多かった。</p>	県内全域	少 10,214

2006年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ セジロウンカ	5月11日～7月25日の予察灯(5か所計)における誘殺数は990頭(平成4,848頭)で平年に比べやや少なかった。 下層ジェット気流等の気象条件と予察灯、ネットラップの誘殺状況から6月10日(少)、26～27日(やや多)、30日(並)、7月4日(並)、7日(並)、18日(やや多)頃に飛来があったと推測された。主要な飛来波は6月26～27日及び7月18日頃と考えられた。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率86.0%(平成69.9%)、10株当たり虫数15.3頭(平成16.5頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率91.9%(平成72.7%)、10株当たり虫数72.1頭(平成33.0頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 6,526 少 15,889 計 22,415
トビイロウンカ	5月11日～7月25日の予察灯(5か所計)における誘殺数は19頭(平成28.5頭)で平成並みであった。 下層ジェット気流等の気象条件と予察灯、ネットラップの誘殺状況及びほ場における発生状況から、6月30日(並)、7月3日(並)、9日(並)、18日(並)頃に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平成4.4%)、10株当たり虫数0.005頭(平成0.12頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.0%(平成8.4%)、10株当たり虫数0.15頭(平成0.24頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 3,405
コブノメイガ	山口市マレーズトラップにおける7月1日～30日までの捕獲成虫数は7頭(平成81.5頭)で平年に比べやや少なかった。 下層ジェット気流等の気象条件と予察灯、ネットラップの誘殺状況及びほ場における発生状況から、6月27日(少)、7月4日(少)、23日(少)頃に飛来があったと推測された。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平成22.1%)、被害株率0.7%(平成2.4%)、被害葉率0.02%(平成0.1%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率64.0%(平成55.0%)、被害株率13.3%(平成12.8%)、被害葉率0.8%(平成0.8%)、20回払い出し虫数は0.5頭(平成2.6頭)で平成並みであった。	県内全域	中 284 少 15,322 計 15,606

2006年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)																
イネ イモジセリ (イネトシ)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率3.5%(<small>平年7.3%</small>)、10株当たりつと数0.02(<small>平年0.05</small>)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3%(<small>平年12.3%</small>)10株当たりつと数0.01(<small>平年0.13</small>)で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 851																
斑点米カメムシ類	中旬の雑草地20回すくい取り調査では、41.8頭(<small>平年43.6頭</small>)で平年並みであった。 下旬の雑草地20回すくい取り調査では、84.7頭(<small>平年56.3頭</small>)で平年並みであった。優占種の発生ほ場率は、アカシガシカメ83.3%(<small>平年50.3%</small>)、ホリカメシ83.3%(<small>平年71.1%</small>)、クモリカメシ66.7%(<small>平年51.1%</small>)でアカシガシカメやホリカメシの発生が多かった。 巡回調査地点では出穂したほ場はなかったため、ほ場でのすくい取り調査は行わなかった。 6月1日～7月25日の予察灯(県内5カ所)における誘殺数は、クモリカメシ4頭(<small>平年11.7頭: やや少</small>)、アカシガシカメ780頭(<small>平年265.1頭: 多</small>)、アカヒゲホソトリスカメ(イネホソトリスカメ)7頭(<small>平年70.5頭: 平年並</small>)で平年に比べやや多かった。	県内全域	—																
ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(<small>平年0%</small>)、被害株率0%(<small>平年0%</small>)で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(<small>平年0.6%</small>)、被害株率0%(<small>平年0.10%</small>)で平年並みであった。 5月～7月25日の予察灯誘殺数は少なく、明確なピークは認められなかった。 【参考】予察灯誘殺(5月～7月25日) <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点名</th> <th>本年(頭)</th> <th>平年(頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田布施</td> <td>0</td> <td>102.6</td> <td>少</td> </tr> <tr> <td>萩</td> <td>0</td> <td>17.7</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>下関</td> <td>0</td> <td>6.8</td> <td>平年並</td> </tr> </tbody> </table>	地点名	本年(頭)	平年(頭)	評価	田布施	0	102.6	少	萩	0	17.7	やや少	下関	0	6.8	平年並	県内全域	—
地点名	本年(頭)	平年(頭)	評価																
田布施	0	102.6	少																
萩	0	17.7	やや少																
下関	0	6.8	平年並																
フタオビコヤガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率11.6%(<small>平年1.1%</small>)、株当たり虫数0.14頭(<small>平年0.01頭</small>)で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.7%(<small>平年1.0%</small>)、株当たり虫数0.07頭(<small>平年0.01頭</small>)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 2,837																
イネクロカメムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.3%(<small>平年0.6%</small>)、25株当たり虫数0.03頭(<small>平年0.01頭</small>)で平年に比べ多かった。	県内全域	少 567																

2006年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																												
ダイズ ハスモンヨトウ	<p>山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、904頭(平成1,225頭)で、平成並みであった。</p> <p>【参考】フェロモントラップ 7月1～4半旬誘殺数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平成 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>127</td> <td>132</td> <td>平成並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>299</td> <td>482</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>山口市名田島</td> <td>867</td> <td>1446</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>433</td> <td>338</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>464</td> <td>2688</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>47</td> <td>159</td> <td>少</td> </tr> </tbody> </table> <p>※山口市名田島は過去4年、阿東町の平成値は過去8年の平均値。下関市の平成値は前年値。</p>	地点	本年 (頭)	平成 (頭)	評価	岩国市周東町	127	132	平成並	周南市	299	482	やや少	山口市名田島	867	1446	前年より少	阿東町	433	338	やや多	下関市	464	2688	前年より少	萩市	47	159	少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平成 (頭)	評価																												
岩国市周東町	127	132	平成並																												
周南市	299	482	やや少																												
山口市名田島	867	1446	前年より少																												
阿東町	433	338	やや多																												
下関市	464	2688	前年より少																												
萩市	47	159	少																												
吸実性カミシ類	6月1日～7月25日の予察灯(5か所計)における誘殺数はイチモンジカミシが9頭(平成22.4頭)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	—																												

2 果樹・茶樹

2006年7月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) そうか病	下旬の巡回調査では、発病ほ場率27.3%(平成27.1%)、発病果率1.4%(平成2.9%)、発病度0.3(平成0.9)で、果実における発生は平成並みであった。	県内全域	少 518
黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率90.9%(平成95.9%)、発病果率42.3%(平成49.3%)、発病度7.1(平成8.2)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	中 691 少 1,036 計 1,727
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.5%(平成19.6%)、発病果率6.3%(平成2.9%)、発病度1.9(平成0.8)で平成に比べやや多かった。	県内全域	中 259 少 605 計 864
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率81.8%(平成43.9%)、寄生葉率6.5%(平成7.5%)、10葉当たり雌成虫数1.9頭(平成4.9頭)で平成に比べやや多かった。	県内全域	中 86 少 1,469 計 1,555
ヤブハカラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率9.1%(平成5.0%)、寄生葉率0.9%(平成0.0%)、寄生果率0%(平成0.0%)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 173
チャノイアザミマ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率27.3%(平成36.0%)、被害果率0.9%(平成1.4%)、被害度0.2(平成0.3)で平成並みであった。寄生果率は0%(平成0.1%)で平成並みであった。	県内全域	中 86 少 432 計 518

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																																				
カンキツ シマルカハガラシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率27.3% (平年12.0%)、寄生果率0.9% (平年0.6%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 86 少 432 計 518																																				
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、被害発生ほ場率9.1% (平年1.5%)、被害果率0.1% (平年0.2%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 173																																				
ナシ (調査ほ場数:10) 黒斑病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率70.0% (平年86.0%)、発病葉率3.5% (平年2.7%)、発病新梢率46.3% (平年32.0%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 48 少 121 計 169																																				
黒星病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年1.0%)、発病葉率0.08% (平年0.007%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 24																																				
うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—																																				
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年8.9%)、寄生葉率5.5% (平年0.7%) で平年に比べやや多かった。一部ほ場で多発していた。	県内全域	甚 24																																				
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0% (平年9.0%)、寄生新梢率0.2% (平年0.1%) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 24																																				
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアカカメムシ、ツヤカメムシ、クサキカメムシ)	7月1半旬～7月5半旬の予察灯(6か所計)における誘殺数は494頭(平年618頭)で平年並みであった。優占種はチャバネアカカメムシであった。 7月のフェロモントラップ(4か所計)における誘殺数は5,365頭(前年20頭)で前年に比べ多かった。 (参考)7月のチャバネアカカメムシフェロモントラップ誘殺数	県内全域	—																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>2006年</th> <th>2005年</th> <th>2004年</th> <th>2003年</th> <th>2002年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平生</td> <td>341</td> <td>0</td> <td>803</td> <td>8</td> <td>1229</td> </tr> <tr> <td>阿東</td> <td>686</td> <td>10</td> <td>8119</td> <td>17</td> <td>2509</td> </tr> <tr> <td>秋芳</td> <td>3571</td> <td>2</td> <td>13434</td> <td>1</td> <td>11656</td> </tr> <tr> <td>藩式</td> <td>767</td> <td>8</td> <td>803</td> <td>6</td> <td>2801</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5365</td> <td>20</td> <td>23159</td> <td>32</td> <td>18195</td> </tr> </tbody> </table>				地点	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年	平生	341	0	803	8	1229	阿東	686	10	8119	17	2509	秋芳	3571	2	13434	1	11656	藩式	767	8	803	6	2801	合計	5365	20	23159	32	18195
地点	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年																																		
平生	341	0	803	8	1229																																		
阿東	686	10	8119	17	2509																																		
秋芳	3571	2	13434	1	11656																																		
藩式	767	8	803	6	2801																																		
合計	5365	20	23159	32	18195																																		

注：7月下旬のナシうどんこ病は、過去6年の平均値を平年値とした。

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																												
野菜、花き類 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤トラップによる7月の誘殺数は、44頭(平年51頭)で、平年に比べやや少なかった。	県内全域	—																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、46頭(平年10頭)で、平年に比べ多かった。	県内全域	—																												
ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップによる7月の誘殺数は、904頭(平年1,225頭)で、平年並みであった。 【参考】フェロモントラップ 7月1～4半旬誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>127</td> <td>132</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>299</td> <td>482</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>山口市名田島</td> <td>867</td> <td>1446</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>433</td> <td>338</td> <td>やや多</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>464</td> <td>2688</td> <td>前年より少</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>47</td> <td>159</td> <td>少</td> </tr> </tbody> </table> ※山口市名田島は過去4年、阿東町の平年値は過去8年の平均値。下関市の平年値は前年値。	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価	岩国市周東町	127	132	平年並	周南市	299	482	やや少	山口市名田島	867	1446	前年より少	阿東町	433	338	やや多	下関市	464	2688	前年より少	萩市	47	159	少	県内全域	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	評価																												
岩国市周東町	127	132	平年並																												
周南市	299	482	やや少																												
山口市名田島	867	1446	前年より少																												
阿東町	433	338	やや多																												
下関市	464	2688	前年より少																												
萩市	47	159	少																												

— お問い合わせは山口県病害虫防除所へどうぞ —

電 話 083-927-4006
 F A X 083-927-4071
 テレフォンサービス 083-927-4649

作物 担当者
 普通作：野崎(病害) 中川浩二(虫害)
 野菜：岡田(病害) 岩本(虫害)
 果樹：藤村(病害) 殿河内(虫害)
 茶：中川浩二(病害虫)